

OpenBlockS 600D

ユーザーズガイド



Ver1.1.1

ぷらっとホーム株式会社

■ 商標について

- ・ その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ・ Microsoft は、Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Microsoft, MS-DOS, Windows, Windows NT, Microsoft Internet Explorer は、米国 Microsoft Corp. の米国およびその他の国における商標または、登録商標です。
- ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することをご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

目次

第1章 はじめに	4
1-1. パッケージ内容	4
1-2. 各部の名称	5
1-3. 製品仕様	7
1-4. 出荷時設定情報	8
第2章 ご利用の前に	9
2-1. 製品概要	9
2-2. RAM ディスクモード	9
2-3. CF 併用モード	10
2-4. Debian GNU/Linux への変更	11
第3章 基本的な使い方	12
3-1. シリアルコンソールでの接続	12
3-2. SSH での接続	12
3-3. 専用コマンドについて	13
3-4. 最初に行うこと	15
第6章 ファームウェア更新	17
6-1. オンラインアップデート	17
第7章 保証について	18
7-1. 保証期間	18
7-2. ユーザー登録	18
7-3. 保証規定	18
7-4. 連絡先	24

第1章 はじめに

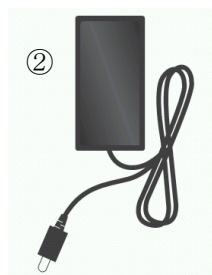
1-1. パッケージ内容

- ① 本体
- ② 専用 AC アダプタ
- ③ AC アダプタ用電源ケーブル
- ④ コンソール用変換アダプタ
- ⑤ 変換アダプタ用ケーブル (20cm)
- ⑥ ネットワーク接続用クロスケーブル (50cm)
- ⑦ コンパクトフラッシュ (添付モデルのみ)
- ⑧ ユーザーズガイド
- ⑨ 保証書

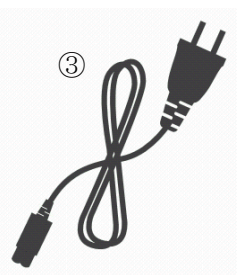
①



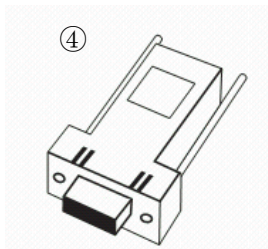
②



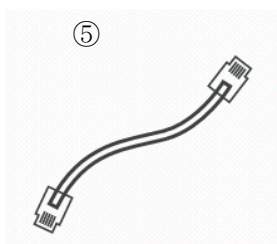
③



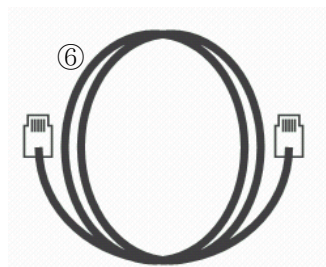
④



⑤



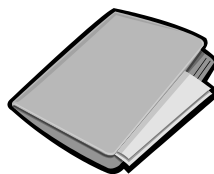
⑥



⑦



⑧

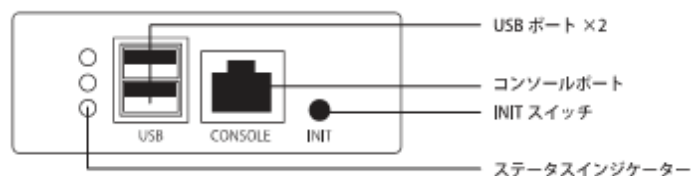


⑨

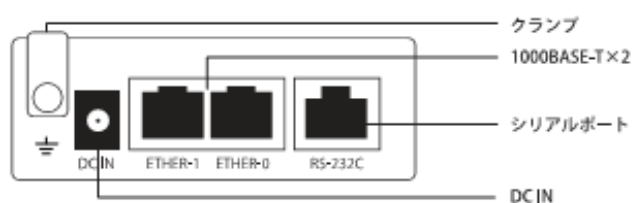


1-2. 各部の名称

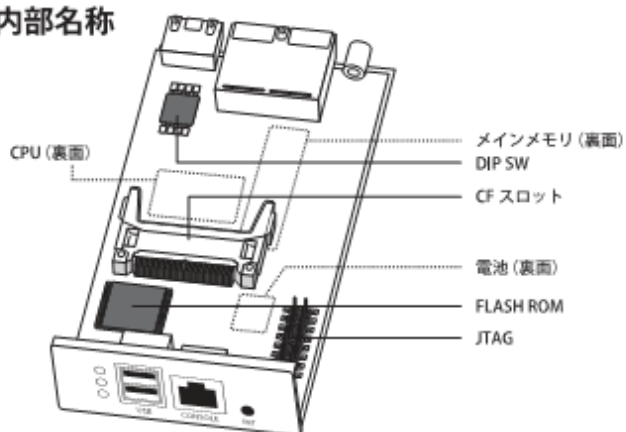
■ 全面コネクタ



■ 背面コネクタ

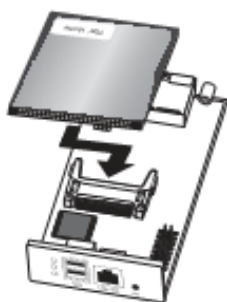


■ 内部名称



◆ コンパクトフラッシュの搭載

各部の名称を参照のうえ、カバーを外しコンパクトフラッシュを CF スロットへ搭載して下さい。底面の四隅のネジ 4 本を外すことで、カバーが外れます。



◆ ステータスインジケータの点灯について

停止中：

全て消灯しています

稼働中：

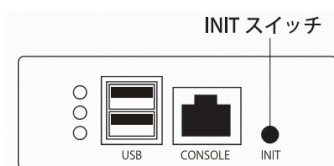
黄→緑→赤→緑→黄・・・のように、上下に点灯・消灯を繰り返します
負荷状況に応じて、3段階で速度が変化します

停止後(シャットダウン処理後)：

黄・緑・赤の3色が、全て同時に点滅を繰り返します

◆ INIT スイッチによるシャットダウン方法

本体前面にある INIT スイッチの押下によって、本製品の再起動または停止が可能です



時間 (秒)	LED(ステータスインジケータ)	動作
0~2	黄 (上段) 点灯	再起動
3~4	緑 (中段) 点灯	
5~	赤 (下段) 点灯	停止

1-3. 製品仕様

CPU	AMCC PowerPC 405EX	
CPU クロック	600MHz	
メインメモリ	1GB (DDR2 SDRAM)	
FLASH ROM (NOR)	128MB	
ストレージ	コンパクトフラッシュ利用可	
インターフェース	ネットワーク	1000Base-T × 2 ポート
	シリアル	5 芯結線 × 2、コンソール用及び外部機器用 (RxD、TxD、RTS、CTS、GND) * コンソール用アダプタ、ケーブル各 1 個標準付属
	USB	USB2.0 (外部×2、内部×1)
	JTAG	2×8 ピンヘッダ (2.54mm ピッチ) ×1
スイッチ	INIT スイッチ	
表示・警告 LED	ステータス × 3	
	LAN アクセス	
外形寸法	81 (W) × 133 (D) × 31.8 (H) mm ゴム足 0.5mm	
本体材質	アルミ合金製	
重量	約 265g	
電源	AC アダプタ 5V	
専用 AC アダプタ外形寸法	40 (W) × 94.2 (D) × 30.5 (H) mm	
消費電力	約 8.0W	
電源条件	許容電圧変動 : 90V-264V	
	周波数 : 50/60Hz 単相	
動作時許容周辺温度	0-53℃ (※) (CF カード実装時、AC アダプタ含)	
	※1000BASE-T で利用する場合は 0~50℃	
	※USB デバイスを利用する場合は 0~40℃	
湿度条件	20-80%Rh *結露しないこと	

※ 製品の仕様・外観は予告なく変更になる場合があります。

1-4. 出荷時設定情報

■ シリアルコンソール/SSH用 管理者ユーザ

ID :	root
パスワード :	root

■ ホスト名

ホスト名 :	Lenny または squeeze
ドメイン名 :	未指定

■ IP アドレス

Ether-0 (eth0)	IP アドレス :	192.168.253.254
	ネットマスク :	255.255.255.0
Ether-1 (eth1)	IP アドレス :	192.168.254.254
	ネットマスク :	255.255.255.0

■ ネームサーバ

DNS サーバー :	未指定
------------	-----

第 2 章 ご利用の前に

2-1. 製品概要

- ・ 小型・堅牢・低消費電力の OpenBlockS 600 をハードウェアに採用
- ・ OS として Debian GNU/Linux 5.0 または 6.0 を標準搭載
- ・ 1GB のメインメモリ及び 128MB の FlashROM を活かした、RAM ディスクモードが利用可能
- ・ より大きなストレージ領域が必要な場合は、CF を記憶領域として CF 併用モードが利用可能
- ・ 標準の Debian に対して、起動スクリプトの追加・変更等いくつかの変更を実施
- ・ カーネルは 2.6.29 をベースに、ハードウェア対応のパッチを適用したものを利用 (独自カーネルですが、`aptitude / apt-get` で更新可能)

2-2. RAM ディスクモード

- ・ `/` を 128MB の RAM ディスク (`initrd`) として確保
- ・ `/.rw` を 384MB の RAM ディスク (`tmpfs`) として確保
- ・ `/.rw` の下には、`/usr` や `/etc` 等のディレクトリを作る
- ・ `/.rw/usr` を `/usr` 上に被せる (`unionfs`) ※ 他も同様
- ・ `/.rw` 以下集約された全ての変更差分を、FlashROM 内ユーザーエリアに保存する
- ・ 起動の度に、FlashROM から RAM ディスクに書き戻すことで、保存時の環境を復元します

df および mount の実行結果

```
lenny:~# df -h
Filesystem      Size  Used Avail Use% Mounted on
/dev/ram0       126M   89M   32M  75% /
tmpfs           64M    0    64M   0% /lib/init/rw
varrun          64M   24K   64M   1% /var/run
varlock         64M    0    64M   0% /var/lock
udev            10M   2.6M  7.5M  26% /dev
tmpfs           64M    0    64M   0% /dev/shm
tmpfs           384M  156K  384M   1% /.rw
unionfs         384M  156K  384M   1% /etc
unionfs         384M  156K  384M   1% /bin
unionfs         384M  156K  384M   1% /home
unionfs         384M  156K  384M   1% /lib
unionfs         384M  156K  384M   1% /sbin
unionfs         384M  156K  384M   1% /usr
unionfs         384M  156K  384M   1% /var
unionfs         384M  156K  384M   1% /root
```

```
lenny:~# mount
/dev/ram0 on / type ext2 (rw)
tmpfs on /lib/init/rw type tmpfs (rw,nosuid,mode=0755,size=64m)
proc on /proc type proc (rw,noexec,nosuid,nodev)
sysfs on /sys type sysfs (rw,noexec,nosuid,nodev)
varrun on /var/run type tmpfs (rw,nosuid,mode=0755,size=64m)
varlock on /var/lock type tmpfs (rw,noexec,nosuid,nodev,mode=1777,size=64m)
procbususb on /proc/bus/usb type usbfs (rw)
udev on /dev type tmpfs (rw,mode=0755)
tmpfs on /dev/shm type tmpfs (rw,nosuid,nodev,size=64m)
devpts on /dev/pts type devpts (rw,noexec,nosuid,gid=5,mode=620)
tmpfs on /.rw type tmpfs (rw,size=393216k)
unionfs on /etc type unionfs (rw,dirs=/.rw/etc=rw:/etc=ro)
unionfs on /bin type unionfs (rw,dirs=/.rw/bin=rw:/bin=ro)
unionfs on /home type unionfs (rw,dirs=/.rw/home=rw:/home=ro)
unionfs on /lib type unionfs (rw,dirs=/.rw/lib=rw:/lib=ro)
unionfs on /sbin type unionfs (rw,dirs=/.rw/sbin=rw:/sbin=ro)
unionfs on /usr type unionfs (rw,dirs=/.rw/usr=rw:/usr=ro)
unionfs on /var type unionfs (rw,dirs=/.rw/var=rw:/var=ro)
unionfs on /root type unionfs (rw,dirs=/.rw/root=rw:/root=ro)
```

RAM ディスクモードの制約

- ・ FlashROM に保存可能なデータ量は、圧縮時 64MB までです
- ・ 「aptitude update」で取得したりポジトリ情報は保存しません
追加インストールやアップデートの前に、必ず update を行う必要があります

2-3. CF 併用モード

- ・ 仕組みの全般は RAM ディスクモードと同じ
- ・ /.rw が RAM ディスクではなく、コンパクトフラッシュになる部分のみ異なる
- ・ コンパクトフラッシュを用いるため、FlashROM への保存や FlashROM からの書き戻しは行う必要がない
- ・ フォーマット ext3、ラベル DEBIAN で mke2fs を行った CF を搭載し、再起動を行うことで CF 併用モードになる

2-4. Debian GNU/Linux への変更

■ 追加

- `/etc/init.d/obs600setup`
RAM ディスクの確保や CF のマウント等の初期設定を実施
- `/usr/sbin/flashcfg`
FlashROM への保存や FlashROM の初期化等の動作に関わる操作を実行
- `/usr/sbin/flashcfg-debian`
上記スクリプトの中で、一部の機能を担当する外部コマンド
- `/etc/default/obs600`
`/etc/init.d/obs600setup` および `/usr/sbin/flashcfg` が参照する設定ファイル
- `/usr/sbin/runled`
本体全面の LED の表示制御を行うため、デーモンとして起動
負荷状況によって、3 段階で表示速度が変更される
- `/usr/sbin/pshd`
本体前面の INIT ボタンが押下されたときの制御を行うため、デーモンとして起動

■ 変更

- `/etc/init.d/umountfs`
本ファイルを含む `initscripts` パッケージは `hold` に設定
同パッケージが更新された場合は、ファームウェア(カーネルパッケージ)のアップデートで対応

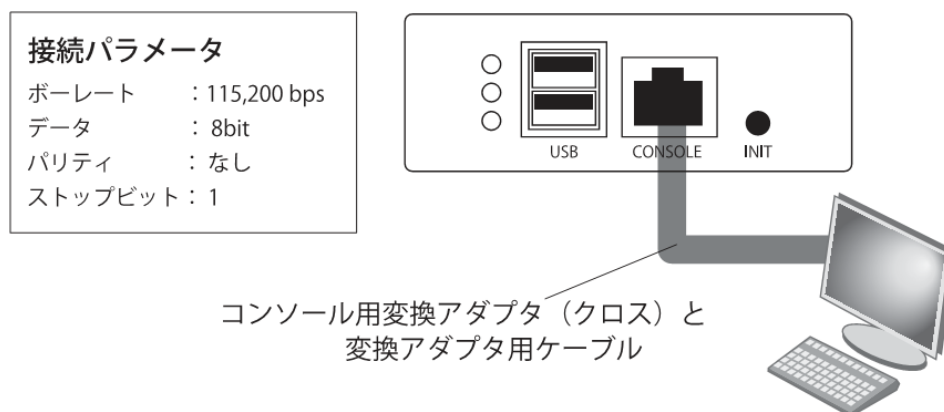
■ 削除

- `/usr/share/locale` 以下の `ja` 以外のロケールデータ(容量削減のため)
- `/usr/share/doc` 以下のドキュメント(同上)
- `/etc/udev/rules.d/70-persistent-net.rules`
(`/etc/init.d/obs600setup` の中で、起動の都度削除)
設定済みの CF を、別の個体に搭載した場合に、ネットワークインタフェースが変更(`eth0` 及び `eth1`→`eth2` 及び `eth3`)されないようにするための処置

第3章 基本的な使い方

3-1. シリアルコンソールでの接続

以下の図のように操作用の PC と接続し、シリアルコンソールソフトウェア(ハイパーターミナルや Teraterm 等)を用いて操作します。コンソール用変換アダプタは、PC 側のシリアルポートに直接接続します。PC 側にシリアルポートが無い場合は、別途 USB-シリアル変換アダプタ等をご用意ください。



3-2. SSH での接続

本装置の IP アドレスに対して、SSH クライアントソフトウェア(Teraterm や putty 等)を用いて操作します。出荷時の IP アドレス・パスワード情報は、「1-4. 出荷時設定情報」を参照ください。

なお SSH サーバーのホスト鍵は、本装置を初めて起動した際に作成します。RAM ディスクモードを利用し、作成されたホスト鍵を保存していない場合は、保存を行うまで起動の度に再作成が行われることとなりますのでご注意ください。CF 併用モードでは、一度生成した後は、ホスト鍵が存在する限り自動的に再生成されることはありません。

3-3. 専用コマンドについて

本装置の動作に関わる設定を行うために、専用のコマンド「**flashcfg**」を搭載しています。RAM ディスクモードで利用する場合は、追加したソフトウェアや変更した設定の保存を行うために、必ず利用する事になります。CF 併用モードの場合には、基本的な利用の範囲では、使用せずとも運用が可能です。なおオプションを指定せずに実行した場合、実行可能なコマンドの簡単なヘルプを表示します。

■ 変更内容の FlashROM への保存 – 全て (RAM ディスクモードのみ)

全てを保存する場合は、オプション「**-S**(大文字の **S**)」を指定します。`/.rw` 以下全てを FlashROM の `/dev/mtd2` に保存します。また、内部的に次の「**-s**(小文字の **s**)」も呼び出します。

```
# flashcfg -S
```

```
FlashROM overwrites the current data.
```

```
Are you ok? [y|N] y
```

```
Archiving userland files... done (Approximately 55 MBytes)
```

```
Erasing blocks: 442/442 (100%)
```

```
Writing data: 56514k/56514k (100%)
```

```
Verifying data: 56514k/56514k (100%)
```

```
Archiving /etc config files... done (Approximately 148 KBytes)
```

```
Erasing blocks: 2/2 (100%)
```

```
Writing data: 136k/136k (100%)
```

```
Verifying data: 136k/136k (100%)
```

- 変更内容の FlashROM への保存 - /etc のみ (RAM ディスクモードのみ)
設定変更(/etc 以下のみ)を保存する場合は、オプション「-s(小文字の s)」を指定します。
/rw/etc のみを FlashROM の/dev/mtd1 に保存します。

flashcfg -s

FlashROM overwrites the current data.

Are you ok? [y|N] **y**

Archiving /etc config files... done (Approximately 148 KBytes)

Erasing blocks: 2/2 (100%)

Writing data: 136k/136k (100%)

Verifying data: 136k/136k (100%)

- FlashROM に保存した変更内容を削除 (RAM ディスクモードのみ)
保存内容を削除し、設定を初期化したい場合は、オプション「-e」を指定します。
FlashROM の/dev/mtd1 及び/dev/mtd2 のヘッダ部分のデータをクリアし、起動時のデータ復元が行えないようにします。全ての領域を削除する場合は、オプション「-E」を指定します。

flashcfg -e

Erase FlashROM (header only).

Are you ok? [y|N] **y**

Eraing FlashROM... done

- 前回保存した際のサイズを表示 (RAM ディスクモードのみ)
RAM ディスクモードでの、ソフトウェアの追加可否を判断するために、前回保存を行った際の使用サイズの情報を表示します。

flashcfg -l

Show FlashROM last saved size

Use userland(-S) : 55 MBytes (MAX: 64 MBytes)

Use /etc config(-s) : 148 KBytes (MAX: 512 KBytes)

3-4. 最初に行うこと

前述の専用コマンド「flashcfg」以外のについては、通常の Debian の操作と違いはありません。aptitude / apt-get による、ソフトウェアの追加や削除、更新なども保存領域の許す限り自由に行うことが可能です。

ネットワーク設定(/etc/network/interfaces の編集)、root アカウントのパスワード変更 (passwd コマンド)等を行うことで、すぐに利用を開始することが可能です。

■ RAM ディスクモード

設定の変更、ソフトウェアの追加・削除などを行った場合、かならず専用コマンドで変更内容を保存して下さい。保存を行わない限りは、変更前の状態に戻ります。

■ CF 併用モード

CF を搭載し、起動しただけでは CF 併用モードにはなりません。CF のフォーマットとボリュームラベルの設定を行って頂く事で、次回起動時から CF 併用モードとして動作し始めます。

CF のパーティション設定に制限はありませんが、すくなくとも 1つのパーティションを用意して下さい。フォーマットの条件は、ファイルシステムに ext3、ボリュームラベルに「DEBIAN」を指定することです。

◆ fdisk によるパーティション設定の例 (全ての領域を 1パーティションで利用する)
太字の箇所が入力を行う部分です

```
# fdisk /dev/sda
```

```
Using /dev/sda
```

```
Command (m for help): o
```

```
Command (m for help): n
```

```
Partition type
```

```
  e   extended
```

```
  p   primary partition (1-4)
```

```
p
```

```
First cylinder  (default 0cyl): (Enter key)
```

```
Last cylinder or +size or +sizeMB or +sizeKB  (default 991cyl): (Enter key)
```

```
Warning: You requested a partition from 0cyl to 991cyl.
```

The closest location we can manage is 0cyl to 990cyl. Is this still acceptable to you?

y Yes

n No

y

Command (m for help): w

Information: Don't forget to update /etc/fstab, if necessary.

Writing all changes to /dev/sda.

◆ mke2fs によるフォーマットの例

太字の箇所が入力を行う部分です

```
# mke2fs -j -L DEBIAN /dev/sda1
```

```
mke2fs 1.41.3 (12-Oct-2008)
```

```
Filesystem label=DEBIAN
```

```
OS type: Linux
```

```
Block size=4096 (log=2)
```

```
Fragment size=4096 (log=2)
```

```
497760 inodes, 1990044 blocks
```

```
99502 blocks (5.00%) reserved for the super user
```

```
First data block=0
```

```
Maximum filesystem blocks=2038431744
```

```
61 block groups
```

```
32768 blocks per group, 32768 fragments per group
```

```
8160 inodes per group
```

```
Superblock backups stored on blocks:
```

```
32768, 98304, 163840, 229376, 294912, 819200, 884736, 1605632
```

```
Writing inode tables: done
```

```
Creating journal (32768 blocks): done
```

```
Writing superblocks and filesystem accounting information: done
```

This filesystem will be automatically checked every 22 mounts or 180 days, whichever comes first. Use tune2fs -c or -i to override.

第 6 章 ファームウェア更新

6-1. オンラインアップデート

OpenBlockS 600D は、本体基板上の FlashROM に書き込まれたファームウェア(カーネルとユーザーランドを結合した物)を電源 ON 時に、読み出し・実行し稼働を行っています。

カーネルに関しては、ファームウェアそのものを更新することで、最新の状態にすることが可能ですが、アップデート方法は特別な物ではなく、ユーザーランドの各種パッケージ類と同様に、「`aptitude update`」でリポジトリ情報のアップデートを行い、「`aptitude safe-upgrade`」で最新の状態に更新することが可能です。

```
# aptitude update
```

```
# aptitude safe-upgrade
```

なおカーネルを含むファームウェアは、FlashROM 上に格納する必要があるため、次のような方法をとっています。`aptitude` によってカーネルパッケージ(これにはファームウェアは含まない)をダウンロードし、そのパッケージのインストールスクリプトの中で、ファームウェアそのものをダウンロード、FlashROM への書込を行います。RAM ディスクモードで、更新を行った場合は、更新情報を記録するため、「`flashcfg -S`」も自動的に実行します。

第7章 保証について

7-1. 保証期間

本体： 弊社出荷日より1年間・センドバックによる機能回復修理
(ユーザー登録により無償にて3年間に延長)

添付品(CF等)： 弊社出荷日より30日間
欠品の充当、または、初期不良交換のみ

7-2. ユーザー登録

WEBサイトに、ユーザー登録用の申請フォームを用意しております。
以下サイトより、登録をお願いします。

<http://openblocks.plathome.co.jp/support/>

7-3. 修理・保証規定

■ 製品利用規程

1. 本装置における免責事項
本装置を運用した結果において発生した、いかなる経済的損害に対する責任も負うことが出来ません。
2. 本装置の使用制限
本装置は一般産業機器で、軍事目的・原子力制御・生命維持装置としては使用できません。
3. 添付品と欠品の初期不良
CF等の添付品に欠品または初期不良があった場合には、弊社出荷日より30日以内に請求して下さい。
4. オープンソースソフトウェアの補償範囲
本装置はオープンソースOSを利用しており、システム動作においての不具合対応は、当社が独自に組み込んだ部分以外は、それぞれのオープンソースコミュニティの修正が反映されます。このため、カーネルなどに何らかの不具合が発見された場合のアップデートは、オープンソースコミュニティのアップデートを待っての対応となります。

■ 製品修理規定

本規定は、ぷらっとホーム株式会社（以下、当社とします。）が当社製品（以下、製品とします。）の修理について定めるものです。

第1条 修理

当社における修理とは、製品（ハードウェアに限る）が当社にて故障と判断した場合において、故障部品の交換にて製品の機能を回復させるサービスです。

第2条 センドバック修理

SENDバック修理とは、修理依頼品を当社へ持ち込む、または送付いただき実施する修理です。

第3条 オンサイト修理

オンサイト修理とは、当社技術員、もしくは当社が指定した技術員が故障した製品の設置場所へ訪問し、実施する修理です。

第4条 修理問い合わせ先、受付時間

製品に添付の保証書やマニュアル、または当社ホームページにて記載しております。

第5条 費用

SENDバック修理、オンサイト修理のどちらも修理に関する費用は、個別にお見積りします。SENDバック修理での修理依頼品の当社受領後、もしくはオンサイト修理注文後の修理キャンセルについては出張費用または検査費用と送料を申し受けます。

第6条 修理受付期間

当社では製品毎に修理受付期間を設定しています。修理受付期間とは無償、有償に関わらず製品の修理を受付ける期間を意味します。この期間を越えた製品に対しては修理をお断りする場合があります。当社の定める修理受付期間は下記の通りです。尚、主要部品の生産中止・採用規格の終息・その他社会情勢などにより予告なく期間を短縮する場合があります。

- A) 標準保証期間 1年間の製品 → 該当製品当社出荷日から 4年間
- B) 標準保証期間 3年間の製品 → 該当製品当社出荷日から 6年間
- C) その他、当社が製品販売時に個別に設定し、見積書または保証書に記載する期間、もしくは当社ホームページにて公示している期間

第7条 故障品の所有権

修理または代替にて交換した故障部品・故障製品の所有権は、修理作業または代替交換が完了した時点で当社に帰属するものとします。

第8条 交換部品

- 1). 交換部品が生産中止等の理由で入手できない時には、相当品またはそれ以上の性能を有する部品と交換する場合があります。尚、相当品またはそれ以上の性能を有する部品への交換にあたり、お客様へ基本ソフトを含むソフトウェアのバージョン変更をお願いする場合があります。
- 2). 交換に使用する部品は、各部品の製造元、および当社にて動作確認が行われた再生品を使用する場合があります。

第9条 修理完了品の保証

修理にて修理・交換をおこなった後、同一症状、かつ、同一箇所の故障が発生した場合は、修理完了日より3カ月間、無償で再修理します。ただし、修理完了日より3カ月間に修理受付期間を超える場合、無償での再修理期間は修理受付期間の残余期間が適用されます。

第10条 修理対象外

下記の状況下においては、修理をお断りする場合があります。

- 1). 日本国外で使用された場合
- 2). 機密保持等の理由により製品本体または故障部品を設置場所より移動できない場合
- 3). 記憶媒体内のデータの漏洩防止義務を当社に要求された場合
- 4). 故障内容の提示が無い場合または故障内容の確認にお客様の協力が得られない場合
- 5). 当社技術員または当社で認定した技術員以外やお客様自身で製品本体を修理、調整、改造等をした場合
- 6). 人体に有害な物質が製品本体に付着している場合、または付着していると想定される場合
- 7). インターネットオークション・個人売買による転売や譲渡で、マニュアルや警告用紙、ご使用上の注意等、添付品に欠品があり、使用方法や保証内容の説明が不十分で転売・譲渡が行われた場合

第11条 規定の変更

当社はお客様への事前の通知およびその承認なしに本規定の内容を変更できるものとします。この場合、本規定の各内容は変更後の規定によるものとします。なお、変更後の規定については、当社ホームページ等により開示するものとします。

第12条 その他

- 1). 本規定に基づき提供される内容に関して、お客様と当社との間に係争が生じた場合は、お互いに信義誠実の原則に従って解決するものとします。
- 2). 前項において、訴訟による解決が必要な場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。
- 3). 本規定に基づき提供される保証に関しては、日本法に準拠するものとします。

■ 製品保証規定

本規定は、ぷらっとホーム株式会社（以下、当社とします。）が当社製品（以下、製品とします。）の保証について定めるものです。

第1条 製品保証

当社における製品保証は、当社出荷日より製品に添付の保証書記載の期日の間、当社にて製品の故障と判断した場合において、本規定および当社の別途定める修理規定に従い、次のいずれかの形態にて当社が無償にて修理を実施します。

- 1). 保証書にオンサイトと記載のある場合
当社技術員、もしくは当社が指定した技術員が故障した製品の設置場所へ訪問し、修理を実施します。
- 2). 保証書にセンドバックと記載のある場合、またはオンサイトと記載の無い場合
修理依頼品を当社へ持ち込む、または送付いただき、修理を実施します。

第2条 対象製品

製品に添付の保証書に記載しています。

第3条 消耗品・有寿命部品

製品には消耗品と有寿命部品が含まれます。消耗品は製品保証の対象には含まれません。また、有寿命部品については修理の際、当社にて寿命に達したと判断した場合、交換に関する費用は有償となります。

- 1). 消耗品に該当するもの
フロッピーディスク・CD-ROM等の媒体・バッテリー・その他、当社が消耗品と定義しホームページ等で公示するもの
- 2). 有寿命部品に該当するもの
ハードディスクドライブ・各種光学ドライブ・ファン・電源ユニット・ACアダプタ・コ

コンパクトフラッシュ・その他、当社が有寿命部品と定義し、ホームページ等で公示するもの

第4条 保証の適用条件

本保証適用の前提条件は以下の通りです。

- 1). 本規定や当社の別途定める修理規定、製品に添付のマニュアルや警告用紙、ご使用上の注意等、書面に記載している、もしくは当社ホームページにて公示している使用環境・条件に従い、適切に使用されている事
- 2). お客様は、製品の記憶装置（ハードディスク等）や、ハードウェア上に記録されたデータ、プログラム、ライセンス情報、ならびに設定内容について、当社は保証せず、当該データの消失、破損、変更等について、当社が一切責任を負わない事について同意いただける事
- 3). お客様は、障害の切り分け、ログファイルや設定情報の提示等、修理に当たっての当社からの故障内容の詳細確認依頼および、修理依頼品の梱包・当社指定場所までの送料負担に協力いただける事

第5条 保証の適用外

保証期間内においても次のような場合には、作業費及び修理に必要となる部材費が有償となります。

- 1). 修理依頼時に保証書の提示がない、または当社出荷日が確認できない場合
- 2). 保証書の記載事項が事実と異なる場合
- 3). 当社指定フォーマット以外での報告書の提出依頼や詳細な解析を伴う障害報告を依頼された場合
- 4). 製品納品後（着荷後）のお客様、もしくは第三者による運搬や移動が原因で生じた故障及び損傷
- 5). 火災、地震や台風などの災害、戦争や騒乱などの人災、公害や異常電圧などの使用環境による故障及び損傷
- 6). バッテリーやコンパクトフラッシュ等、消耗品や有寿命部品で、当社が寿命に達したと判断した部品を交換する場合
- 7). 接続された他の機器に起因して故障した場合
- 8). ご使用上の誤り、または不当な修理や改造、誤接続、誤挿入や指定外の電源使用による故障および損傷の場合
- 9). お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入による故障等）

第6条 保証の期間延長等

当社では、保証期間延長や、オンサイト修理サービス、サポートサービス等、製品標準の保証を超えた追加サービスを有償で提供しております。追加サービスの内容や費用については当社営業担当、または製品のご購入元までお問い合わせください。

第7条 オプション品およびソフトウェアの保証

- 1). 製品オプションに関する保証内容は、お客様が実装される製品本体の保証内容が適用されます。また、その保証期間はオプション品に付与されている保証期間と、製品本体の残余保証期間の何れか短い方が適用されます。
- 2). 当社が製品にあらかじめインストールした各ソフトウェア（オペレーティングシステムやソフトウェア全般を含む）の保証は製品保証には含まれず、各ソフトウェアの使用許諾やライセンス契約等の条件に従い、現状有姿のまま提供されます。

第8条 保証制限

お客様が使用する製品の故障に対する本規定に基づく当社の保証限度額は、お客様が支払った製品購入価格、または本規定の適用条件のもとで発生した故障部品の修理・交換費用のうち、いずれか低い方の金額となります。

そのほか製品の使用・未使用に関らず、採用した結果において発生した、直接的、間接的、派生的、偶発的等、いかなる損害に対する責任も当社で負うことは出来ません。

第9条 通知の義務

ユーザー登録を行っていない場合、製品欠陥などが発見されても通知の義務は無いものとします。

第10条 規定の変更

当社はお客様への事前の通知およびその承認なしに本規定の内容を変更できるものとします。この場合、本保証の提供条件は変更後の規定によるものとします。なお、変更後の規定については、当社ホームページ等により開示するものとします。

第11条 その他

- 1). 本製品保証は、日本国内においてのみ有効です。
- 2). 本規定に基づき提供される保証に関して、お客様と当社との間に係争が生じた場合は、お互いに信義誠実の原則に従って解決するものとします。
- 3). 前項において、訴訟による解決が必要な場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。
- 4). 本規定に基づき提供される保証に関しては、日本法に準拠するものとします。

7-4. 連絡先

■ 電話での問い合わせ

03-5213-4372

月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）9:30～18:00

■ Eメールでの問い合わせ

support@plathome.co.jp

■ 返送先

〒102-0073

東京都千代田区九段北 4-1-3

日本ビルディング九段別館 3F

ぷらっとホーム株式会社 カスタマーケア課 宛

2011年12月 Ver 1.1.1

落丁・乱丁の場合はお取替えいたします。

OpenBlockS 600D ユーザーズガイド

ぷらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F